

# 設定例：Cisco Unity Express ネットワーク

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[関連製品](#)

[表記法](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[設定](#)

[Unity Express な VPIM の on Cisco 設定](#)

[VPIM on Cisco 設定 Unity の](#)

[DNS の設定](#)

[オプションコンフィギュレーション要素](#)

[制約 および 制限事項](#)

[ネットワーク接続の検証](#)

[Cisco Unity Express サイト 4 設定](#)

[設定のための GUI の使用](#)

[設定のための CLI の使用](#)

[Cisco Unity Express サイト 6 設定](#)

[設定のための GUI の使用](#)

[設定のための CLI の使用](#)

[Cisco Unity サイト 7 設定](#)

[発信 ロケーションの設定](#)

[Microsoft Exchange および UVC 設定の確認](#)

[DNS の設定](#)

[確認](#)

[DNSサーバ 接続の検証](#)

[サイト間の接続の検証](#)

[ネットワーキング 設定の確認](#)

[メッセージ送信 VPIM アクティビティの検証](#)

[トラブルシューティング](#)

[Cisco Unity Express オペレーションを監視する Show コマンドの使用](#)

[SMTP および VPIM アクティビティを監視する Trace コマンドの使用](#)

## 概要

注: この設定例がある特定の手順の要約説明を提供するが、コンテンツは Cisco Unity および

Cisco Unity Express 両方システムのための全面的なユーザインターフェイスとの習熟度を仮定します。これらの製品の詳しい機能および機能説明のための適切なコマンドレファレンス、設定および administrator のガイドを参照して下さい。

この資料はインターネット メール (VPIM) の Cisco Unity Express 音声 プロファイルの音声メール設定に設定例を提供したものです。例では、VPIM は 2 つの Cisco Unity Express サイトおよび 1 つの Cisco Unity サイトを接続します。3 つのサイトはすべて中央 Cisco Unified CallManager の制御の下にあります。CallManager は Cisco Unified CallManager Express (CME) または Cisco Call Manager のどれである場合もあります。Cisco Unity Express と Cisco Unity 間のネットワーク接続を提供するために、Call Manager がコール制御を供給する重要ではありません; 音声メールネットワーキングのための設定は変わりません。

この資料のコンフィギュレーションシナリオは 3 つのサイト間の音声メールネットワーキングのためです。この設定には次の特徴があります。

- メッシュ ネットワーク --すべてのサイトは音声 メッセージを送り、他のすべてのサイトから音声 メッセージを受け取ることができます。1 つのネットワーク内に最大 500 個の Cisco Unity Express サイトをメッシュできます。Cisco Unity はサイト (発信ロケーション) のいっそう大きな数からのレシーブに送信。
- VPIM ネットワーキング --この例では、Cisco Unity システムはサイト間の Domain Name System (DNS) サーバとして機能します。
- 4 桁のダイヤリング計画 --四桁計画電話番号の例: サイト 4 (Cisco Unity Express) の IP フォンはサイト 6 (Cisco Unity Express) に 4001 および 4002、6001 および 6002 である、およびサイト 7 (Cisco Unity) で 7006 があります。
- Public Switched Telephone Network (PSTN) 接続無し --3 つのサイトのコンフィギュレーションでは、PSTN 接続に音声メールネットワーキング 設定への関連性がありません。ネットワーク現実の世界オフィスは一緒にこの PSTN 接続性の設定が含まれています。

## 前提条件

### 要件

設定を開始する前に次の前提条件を満たしていることを確認して下さい:

Cisco Unity Express および Cisco Unity は VPIM ネットワーキングが可能なソフトウェア リリースを実行する必要があります。このサポートは Cisco Unity Express Release 2.0 および Cisco Unity リリース 4.03 から開始します。推奨されるリリースは Cisco Unity Express リリース 2.1 および Cisco Unity リリース 4.04 です。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- サイト 4、Cisco survivable remote site telephony (SRST) を実行する Cisco 3725 ルータおよび Cisco Unity Express
- サイト 6、Cisco SRST および Cisco Unity Express を実行する Cisco 3745 ルータ
- サイト 7、Cisco Unified CallManager および Cisco Unity
- Cisco CallManager リリース 4.0.1
- Cisco Unity 4.04

- IP 音声機能 セットの Cisco IOS 12.3(11)T2
- Cisco Unity Express リリース 2.1

すべてのサイトに IP ネットワークにイーサネット接続があります。 サイト 4 および 6 に 2 つの Cisco 7960 IP フォンがそれぞれあり、 サイト 7 に単一 Cisco IP Phone があります。 すべての IP フォンおよびダイヤル プランは中央 Cisco Unified CallManager の制御の下にあり、 ルータは Cisco SRST オペレーションのために設定されます。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。 このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。 ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## 関連製品

この設定は、次のバージョンのハードウェアとソフトウェアにも使用できます。

- Cisco 2800 シリーズ ルータ。
- Cisco 3800 シリーズ ルータ。
- Cisco 2800 シリーズ ルータの場合は Cisco IOS Release 12.3(8)T4 以上のリリース。 Cisco 3800 シリーズ ルータの場合は Cisco IOS Release 12.3(11)T 以上のリリース。

## 表記法

表 1 にリストされている規定はこの資料で使用されます。

### この資料で使用される表 1 表記法

表記法	説明
太字のテキスト	<p>次の場合は太字を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• キーおよびボタン名。 (例: [OK] をクリックし)</li> <li>• ユーザが入力する情報。 (例: ユーザネーム ボ マンド・ ライン エントリで<b>管理者</b>を入力して</li> </ul>
<> ( 山形カッコ )	<p>かぎカッコは値を指定するパラメータのまわりで (例: ( [Command Prompt] ウィンドウで、 ping &lt;IP 力します )。</p>
- ( ハイフン )	<p>ハイフンは同時に押す必要があるキーに加入しま Ctrl+Alt+Delete キーを押します )。 選択項目を区切るのに使用します。</p>
> ( 右向きの山カッコ )	<ul style="list-style-type: none"> <li>• メニュー (例: ( Windows の [Start] メニューか [Control Panel] &gt; [Phone and Modem Options] す )。</li> <li>• Cisco Unity Administrator のナビゲーション / ( [System] &gt; [Configuration] &gt; [Settings] ペー  )。</li> </ul>
IP V4 形式のアドレスの上位アドレス範囲で使用される文字 a。	<p>パブリック クラス A インターネット アドレスま を表します。 パブリック番号の使用を防ぐために 使用されます。 (例: a.23.10.224. )</p>
文字電話番号の内で使用される X および y。	<p>電話番号のエリア コードとプレフィクスを表しま 番号の使用を防ぐために説明目的でのみ使用され 2xx.yyy.1234. )</p>

メモのための次の規定および注意はこの資料でも使用されます:

注: 「注釈」です。役立つ情報や、このドキュメント以外の参照資料などを紹介しています。

注意: 「要注意」の意味です。これから行う操作によって装置の故障やデータの損失が発生する可能性があることを意味しています。

## 設定

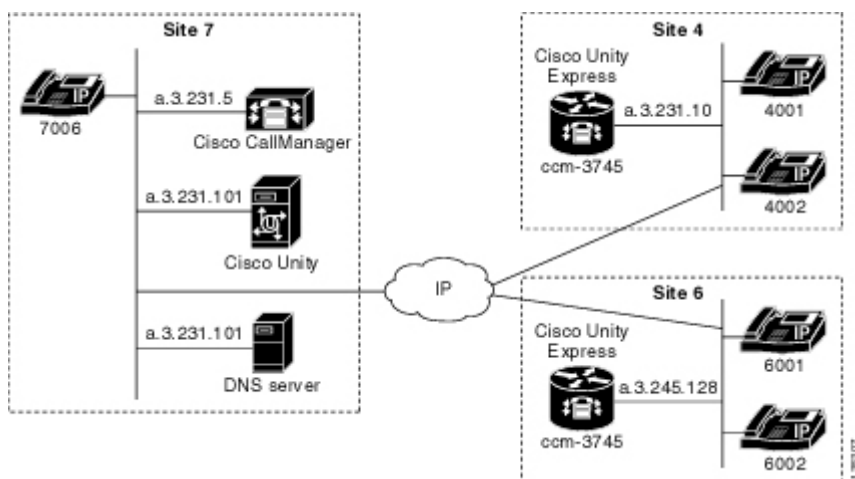
この項では、このドキュメントで説明する機能の設定に必要な情報を提供します。

注: このドキュメントで使用されているコマンドの詳細を調べるには、Command Lookup Tool ( [登録ユーザ専用](#) ) を使用してください。

## ネットワーク図

このドキュメントでは次の図に示すネットワーク

Cisco Unity でネットワーク図 1 ネットワークダイアグラム表示 Cisco Unity Express



サイト 4 位置に次の特性があります:

- NM-CUE の Cisco 3725 ルータ
- IP アドレス a.3.231.10 による IP ネットワーク アクセス
- Cisco 2 つの IP フォン ( 拡張 4001 および 4002 ) との Cisco Unified CallManager/Cisco SRST 設定
- Cisco Unity Express IP アドレス a.3.231.128
- ネットワーク位置 ID 444
- Cisco Unity Express DNS ドメイン名 ch4.cue.cisco.com

サイト 6 位置に次の特性があります:

- NM-CUE の Cisco 3745 ルータ
- IP アドレス a.3.245.1 による IP ネットワーク アクセス
- Cisco 2 つの IP フォン ( 拡張 6001 および 6002 ) との Cisco Unified CallManager/Cisco SRST 設定
- Cisco Unity Express IP アドレス a.3.245.128
- ネットワーク位置 ID 666

- Cisco Unity Express DNS ドメイン名 ch6.cue.cisco.com

サイト 7 位置に次の特性があります:

- IP アドレス a.3.231.5 の Cisco Call Manager
- 1 Cisco IP Phone ( 7006 ) 拡張
- IP アドレス a.3.231.101 の Cisco Unity
- ネットワーク位置 ID 777
- Cisco Unity DNS ドメイン名 unity.unity.cisco.com
- IP アドレス a.3.231.101 の DNSサーバ ( Cisco Unity サーバによってホストされる )

## 設定

この文書では次に示す設定を使用しています。

### Unity Express な VPIM の on Cisco 設定

Unity Express な VPIM ネットワーキング 設定を on Cisco 設定するのにこれらのステップを使用して下さい:

- 
- ステップ 1** DNSサーバを設定し、IP アドレスを規定して下さい。
- ステップ 2** ネットワークにほしいと思う他の場所をすべて定義して下さい。
- ステップ 3:** 各位置に関しては、規定して下さい:
- Location ID
  - ドメイン名 ( DNS ホスト名 )
- ステップ 4:** サイトのローカルである ) ローカル位置 ID を設定して下さい ( 定義して下さい)。
- 

### VPIM on Cisco 設定 Unity の

VPIM ネットワーキング 設定 on Cisco 設定するのにこれらのステップを Unity を使用して下さい:

- 
- ステップ 1** プライマリ 位置 ( ローカル サイト ) を定義して下さい。
- ステップ 2** ネットワークにほしい各リモートサイトのための発信 ロケーションを定義して下さい。
- ステップ 3:** 各発信 ロケーションに関しては、規定して下さい:
- 表示名
  - ダイアルID ( Cisco Unity Express 位置 ID にマップこの )
  - VPIM として変換先の型を入力して下さい
  - SMTP ドメイン名 ( DNS ホスト名 )
- ステップ 4:** SMTP ( すなわち、VPIM ) トラフィックのための Setup ウィンドウ Exchange に Unity 音声 ネットワーク ( UVC ) Unity を on Cisco 設定して下さい。
- 

## DNS の設定

DNSサーバを設定するのにこれらの一般的なステップを使用して下さい。

## オプションコンフィギュレーション要素

次の要素はオプションコンフィギュレーション要素です:

- Unity Express な テレフォニー ( AVT ) インターフェイスによって管理を使用して話された名前を on Cisco 記録できます。これはメッセージ送信者に宛先の場所のための話されていた確認を与えます ( 位置 ID の数字読み出しの代りに ) 。
- on Cisco 記録された Unity である場合もあります発信 ロケーションの話された名前を記録できます。
- メッセージをこれらのリモートユーザの 1 人に当たるとき人が名前の確認を得るように Cisco Unity Express 静的なディレクトリのリモートユーザ ( および話された名前を AVT に よってそれらのために記録することができます ) 定義できます。
- Cisco Unity または Cisco Unity Express ディレクトリをアップデートし、受信者にメッセージのメッセージヘッダー 再生を援助するために各メッセージとの話された名前および vCard 情報を送信できます。Cisco Unity Express によって、話された名前および vCard 情報はデフォルトで送信されます。Cisco Unity と、デフォルト 設定は送信 されないべき情報を求めます--発信 ロケーションで明確な設定が ( 送信 サイトのために ) この情報を含むために必要となります。vCard および話された名前 情報を設定することは受信者にメッセージヘッダー再生のより明示的 なヒントがあるのを助けます。たとえば、vCard およびスプーク名前情報なしで音声メールを取得するとき、新しいメッセージのヘッダは次の通り展開するかもしれません: 「次の通り vCard 情報との 3:20 に不明の番号から今日届くメッセージ」は、メッセージヘッダー展開するかもしれません: 「次の通り vCard および話された名前 information との 3:20 に拡張 yyy9756 から今日届くメッセージ」は、メッセージヘッダー展開するかもしれません: 「3:20 にジェーン雌ジカから今日届くメッセージ」
- VPIM によってメッセージと送信 される 宛先 アドレッシング デイジットの一定限度のデイジット操作を割り当てるために電話プレフィックスを設定できます。
- Cisco Unity Express はサイトの拡張の長さのための最小および最大値を設定することを可能にします。これは送信 システムがブラインド アドレスの一定限度のエラー チェックをするようにします。
- 2 つのメッセージフォーマットは ( G.711 および G.726 ) サポートされます。好む形式を選択できます。

## 制約 および 制限事項

次の考慮事項は Cisco Unity Express と Cisco Unity 間の VPIM ネットワーキングの設定に適用します:

- 各位置 ID ( ダイヤルID ) は少なくとも 3 デイジットが含まれている必要があります。
- ネットワークアドレッシングは DNS によってする必要があります ( すなわち、ホスト名と ) 。直接 IP アドレスは Cisco Unity Express サイト間のネットワーキングに使用することができますがネットワークのサイトのうちのどれかが Cisco Unity システムである場合使用することができません。
- ネットワークブロードキャスト メッセージングが使用される場合、Unity Express な VPIM ブロードキャスト ID は on Cisco 数字であるためにだけ設定する必要があります。既定の文字列 ( vpim ブロードキャスト ) は英数字で、ネットワークに Cisco Unity で使用することができません。

